

熊本支部が再結成された 1991 年 9 月からほぼ 9 年後の 2000 年 7 月、私は仕事の関係で、22 年余り暮らした東北の秋田市から水俣市に転居した。

翌年 2001 年 4 月 15 日～21 日に熊本支部の「春の切手展」が城東郵便局で開催されることを知った私は、熊本城前の会場でこれを見学し、その場で入会した。

当時は九州自動車道に乗るにも、水俣市から八代市までは三号線を走らなければならず、時間もかかった。

本来の仕事も忙しく、毎月の例会にも半分くらいしか出席出来なかったが、熊本市まで出てくるのは良い気分転換にもなった。それから 20 年あまり、たくさんの人達とも出会いながら、共に趣味の世界を広げることができたことに改めて感謝したい。

高齢化や、郵便事業を取り巻く状況なども大きく変わっていくが、皆さんと共に引き続き熊本支部の活動を盛り上げて行ければと願っております。

日本郵趣協会熊本支部 30 周年おめでとう

内野 実

私が熊本支部に入会したのは、2019 年 10 月お菓子の香梅にて「秋の切手展」の開催を知り上土井氏と見学したのが、きっかけです。東部公民館にて例会をやっているということで、お試し参加して入会しました。私自身過去には生まれの神奈川県にて郵趣会に参加していましたし、熊本にても郵趣会を立ち上げて上土井氏や細井氏と共に活動しておりましたので、共通の趣味の仲間と活動するのは楽しいものです。

それぞれの分野や、収集のこだわりは違っても原点は皆同じ『切手が好き』ということだけ。そして、他の方のコレクションを見ることは刺激になります。

どこまで行っても終わりのない切手収集という趣味を、これからもマイペースで続け、また熊本支部の皆さんとの交流も大切に支部の発展を祈念致します。

日本郵趣協会熊本支部 30 周年の寄稿は、今回をもって終了と致します。寄稿いただいた皆さんありがとうございました。